

人間が環境を壊している

M. K

僕が林間学校の自然体験学習で調べたかったことは、「磐梯の自然は人間によってどれだけ壊されているか」です。

このテーマを選んだ理由を説明します。僕は最初に動物について調べていました。しかし、「クマが森から離れた人里にくる」というニュースを新聞の記事でもたくさん見たことがあったので、そのニュースについて調べてみました。すると、クマが人里に出てくるのは森がだんだん減ってきていて、森が減れば木が減り、クマなどの大切な食糧の木の実が減ってしまうからだということです。力の弱いクマや子供のクマなどが森から出てきて人里に出てきてしまうのだそうです。

その人里に出てきてしまったクマを「捕まえて殺してしまった」というのも聞いたことがあります。しかし、このようなことが起きるのはクマのせいではありません。人間が勝手に木を切り倒し、動物が暮らせない環境にしているからなのではないでしょうか。クマが出てくることは仕方ないと思います。

このように人間が環境を壊していることは現実です。なので「何をしたら自然を壊し、何をしたら自然を壊すことにならないのか」ということに興味を持ち、調べることにしました。そして、実際に磐梯に行きました。自然体験学習では、森の中の道は歩きやすくて植物が道の真ん中に生えているというのはなく、前までは植物があったのに何度も通ると地面が固まってしまい植物がなかったところが多かったと思います。

磐梯のクマ

磐梯にはツキノワグマというクマがいます。ツキノワグマの特徴は体長1.4メートルくらいと、クマの中では少し小さめです。

ツキノワグマの食料はどんぐりやくりなどの木の実が主で、ほかにも魚や野ネズミ、ハチミツや蜂の巣の中にいる幼虫などを食べます。

ツキノワグマは、足で人間のように二足歩行ができ、足と手には5本の指があり、鋭い爪が生えています。川などで水遊びをするととてもかわいいですが、実際に林間学校2日目の1日コースで、木にクマが爪でひっかいた跡があり、少し怖かったです。

それ以外にツキノワグマに関するものは見る事が出来なかったけど、爪でひっかいた跡が見られたので嬉しかったです。

ブナの木

この写真はブナの木で、2日目の1日コースで「雄国沼を目指せ」で、雄国沼に行く途中に大きなブナの木がありました。そのブナの木は、「人間だとこの木は300歳だよ」と聞いて、約300年前という1700年ぐらいで1700年はまだ戦争がおこなわれていて、まだこの木は小さいと思います。なのに、戦争の破壊から逃れられているのはとても運がいいと思います。

僕がブナの木の下に行って木を見上げた時は300年も生きているブナの木をととてもたくましく感じました。

このブナの木は、周りの木とはまったく違い、大きくて太くて木の周りにはたくさんのコケがありました。

色、高さ、太さ、その3つがほかの木とはまったく違いました。

このブナの木によって、僕は初めて植物を見て感動しました。



道

雄国沼に着く前の道を歩いているときにとてもびっくりすることがありました。それは、人間が歩いて地面が削られるところではないくらいで、1メートルくらいの溝ができていました。その道を歩くときは1人が通っても変化はないと思います。しかし、何人もの人が同じ場所を踏むとこのような溝ができてしまい自分もその道を歩いてとても硬かったことがわかりました。人間が通らなかつたらその溝はなかったと思います。

植物

植物は人が通る場所に生えていないということがわかったのは「ベンチ」があったからです。この写真の近くにはベンチがありました。

ベンチの近くには植物がほぼありませんでした。しかし立入禁止と書いてあるテープの中にベンチがあるとところを一か所だけ見つけました。そのベンチの近くには植物が全くないことがわかりました。なので、人が通るところだけ植物がないことがわかりました。



裸地化

人間が通る道の近くには木があります。木というのは根があり、根が支えになっています。人間が道を歩くことによって地面が沈んでしまい木の根まで届いてしまいます。

僕は1日目の半日コースで、始まってすぐにたくさんの木の根がむき出しになっている

のを見ました。2日目の1日コース「雄国沼を目指せ」でもたくさんの木の根がむき出しになっていました。3日目もおなじで木の根がむき出しになっていて事前の勉強でも写真で見たことがありましたが、実際ここまでひどいとは思いませんでした。僕は人間がまだ入ったことのない磐梯に行ってみたかったです。

自然



この写真は1日目の「環境問題自然を守る」で撮りました。ガイドは桑原信先生でした。僕は最初この水のことを「水たまりかな」と思いました。しかし、桑原信先生は「ここは昔湖だった場所だよ」と言って「昔はもっと水があっけきれいだっただけ火山の噴火によって水が流れてなくなったんだ」と聞き、その湖の周りにはコケがありました。普通だったらそこには草や木などがあるはずですが。

木は水の中では育たないもの多くて、そこにはコケがあり、「ここは本当に湖で湖を消してしまう。そんな自然の力はすごい」と思いました。

破壊

この写真は雄国山の頂上からとった雄国沼の写真です。雄国沼は2日目の1日コース「雄国沼を目指せ」で行きました。

雄国沼に着いて、そこには木道がありそこを歩いていろんな話を聞きました。その木道の下にはいろんな植物があり、とてもきれいでした。

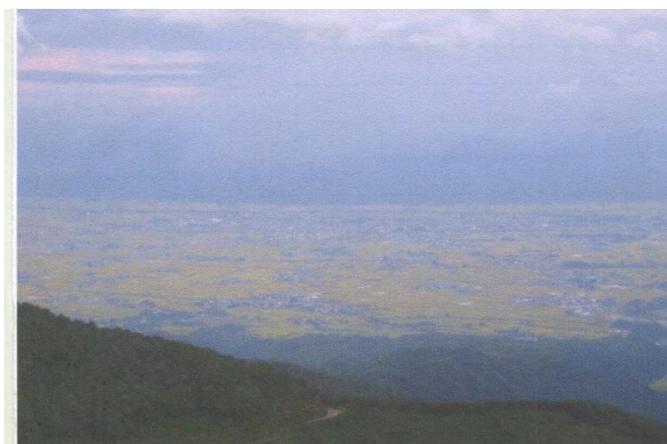
自然体験学習の事前調査で植物は取って



はいけないと勉強したけど現実には、木道を降りて植物を踏んだり取ったりしている人がいるということもわかりました。

その人たちの写真を撮ったりするためだけに自然を壊してもかまわないという考えはおかしいと思いました。

この写真は雄国山の頂上から見た景色です。



現在

僕は事前に学習してきたことと、実際に自然体験学習に行って人間がどれだけ自然を壊しているかがわかりました。今現在も自然は少しずつ壊れていっています。しかしこのようにまだたくさんの自然が残っています。けれどやっぱり自然は壊れてしまい、動物はえさが少なくなり熊のように人里へ降りてきてしまいます。

このように人間が自然を壊してしまうのが悪いと思います。

林間にきてこのようなことを知ったからには、僕はできる限りのことをして自然をできるだけ守れるようにできたらいいと思います。